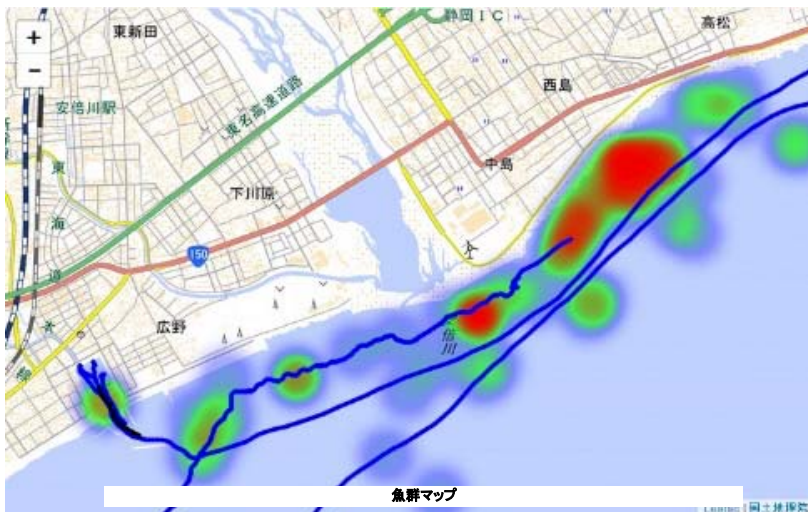


「しずまえ資源」管理・情報提供 システムの構築



目的・概要

「しずまえ（静岡市の前浜）」で行われている「しらす漁業」と「桜えび漁業」は、この地域の最も重要な漁業である。このプロジェクトでは、漁船の魚群探知機（魚探）とGPS機器によって得られる魚群密度と位置データをリアルタイムに収集するシステムを構築し魚群マップを作成する。この情報を基に、しらす漁業では操業の効率化を、桜えび漁業では資源量の変化に対応した操業を行い安定した供給ができるように支援する。

実施体制

- 静岡県水産技術研究所 上席研究員 小林憲一（プロジェクトリーダー）
- 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 宮下和士
- 東京海洋大学海洋資源エネルギー学部門 准教授 甘糟和男



研究内容

①魚群位置による操業形態の選択基準の提示、その操業形態を選択した効果の検証
しらす魚群の魚群密度と位置データを基に、どの操業形態（個別操業、集団操業等）が効率的か選択基準を示し、効果（時間、費用等）を検証する。

②漁場情報速報システムの構築

桜えび漁船と県水産技術研究所調査船の魚探とGPS機器からサクラエビ魚群の魚群密度と位置データをリアルタイムに集める。また、集めたデータを基に、漁場全体の魚群密度を推定する方法を開発する。

③漁場情報収集システムの試験運用、漁業者が必要とする情報と提供方法の決定

②で構築したシステムで集めたデータを、いつ、何の情報を、どの様に漁業者に提供すれば良いかを関係者と協議し改良する。

④経済情報と漁業情報の関係分析

水揚量、水揚金額と漁獲努力量（操業隻数、操業時間等）のデータから、水揚量と価格の関係、操業1回あたりのコスト等について分析する。



MICCS

静岡市海洋産業
クラスター協議会

〒424-0822 静岡県静岡市清水区旭町6-8（静岡市役所産業振興課内）
TEL.054-354-2656 FAX.054-354-2132 E-mail info@miccs.jp